

激動する世界とわれわれの闘いの進路

——帝國主義支配に抗する一本の杭を

本誌編集部

2

●巻頭エッセイ・春夏秋冬

動き始めた学びの時計 —— 夜間中学校生徒への聞き書きを通してみえる沖縄朝鮮の変容と一貫した精神に込めたい民主政権の樹立へ突き進む韓国労働者・民衆間もなく六年目を迎えるフクシマ ——

学校NPO 珊瑚舎 スゴレスタッフ 東アジア青年交流プロジェクト事務局 月刊「日韓分析」 原発いらない 福島の人たち

しゅんかしゅうとう

労働者通信

国家公務員だって労働者だ —— 賃下げ違憲訴訟控訴バス運転士に不当な転籍 —— 「追い出し部屋」で強要 壊れたイスつからの再出発 —— 「わたしの原点」 韓国に進出した日系企業の横暴を許すな！ —— 韓闘サンケン労組の整理職員の闘い 破壊された森林・農地肥沃な美田 —— 重なる苦悩を見捨てる行政

元公務員 国公務連 全司法労働組合 元京成電鉄労組 書記長 全労協全国一般東京労組 フジビジュアル分會 韓国サンケン労組を支援する会 埼玉県在住 元教員

◆特集I——いまこそ社会主義が必要だ！◆

安倍政治の本質と労働者人民の闘いの進路

——労働者階級人民の闘いには、歴史的階級的・国際的観点が必要だ

広野省三

23

資本主義は戦争を必要としている

——映画「戦争案内」監督・高岩 仁 2006年解説

本郷文化フォーラムウイカーズスクール (HOWS) 事務局責任者

金野正晴

38

ロシア・アヴァンギャルド作品の表紙掲載の意味

——表紙の絵について▽

『教えられなかった戦争』シリーズ製作上映実行委員会

画家 金山明子

36

「ロシアの国境を守る赤軍と海軍」(ロスタの窓 No.81)二九二〇年作

画家 金山政紀

61

◆特集II——中国の歴史と現状をどうみるべきか◆

中国「社会主義」の再検討

——鄧小平理論とは何だったのか

社会学理論研究

山下勇男

62

中国社会主義を考える

——国有企業改革を中心に

摂南大学教授

瀬戸 宏

74

◆韓国論調◆

朴槿恵は退陣せよ！ 民主主義をかちとろう！

——朴槿恵 崔順美ゲートの背景と朴槿恵退陣闘争の展望

韓国・労働社会科学研究会

114

戦争へとむかう安倍政権の治安体制づくりを許すな！

名古屋学院大学教授 憲法学・平和学

飯島滋明

46

△状況2017冬▽

労働 —— 政府・独占の「雇用柔軟化」がねらうもの —— 自治体 労働者 演劇 —— 仮面の正体はなにか —— 「株父困民党」一八八四年 日本をゆるがした十日間 文化活動家

自治体 労働者 岡野奈保美

138

△ヘイト・スピーチと闘うために⑤▽

——ダーバン宣言とは何だったのか

東京造形大学教授

前田 朗

128

△続・拉致問題で歪む日本の民主主義⑤▽

——膠着状態の今、マスコミはどのように総括するのか

琉球大学 名誉教授

高嶋伸欣

88

△研究ノート▽

——「婦人と文学」(一九四七)を読む

戦後文学ゼミ会員

松岡慶一

146

読書ノート

河田 宏著 『日清戦争は義戦にあらず』 望月衣塑子著 『武器輸出と日本企業』 島 洋子著 『女性記者が見る基地・沖縄』 本間 龍著 『原発プロパガンダ』

社会主義研究 編集者 大木昭三 阪上みつ子 朝鮮大学校学生 編集者 崔 悠 純 戦後文学ゼミ会員 H.O.W.S 野田光太郎

164

BOOK WATCH

『トルソー 創刊号』(群島の会編) / 『沖縄・伊江島(木軍・LCT爆発事故)』(島袋清徳著) / 『まかり通る安倍政権の大本営発表——壊憲の危機にいかん立ち向かうか』(山口正紀 講演録)

172

△文庫発掘▽『最暗黒の東京』(松原岩五郎著)

編集者 渥美 博

73

△短歌▽空のモチーフii

歌人 加部洋祐

113

△川柳▽笑歌▽カネの心

笑い 茸

126

△連載▽

放射能汚染と向かい合ったための基礎知識⑩

今中哲一

東日本大震災・壊滅地区復興委員だより⑭

金野正晴

11

△原発事故被災者の声⑭▽

國分富夫

波来土の漫画館

波来土

96

△読者会から▽東京西部／福岡

追川恵子

イラスト

金山政紀

174

△デザイナーの独り言▽

追川恵子

編集後記

金山政紀

176

